

**01 国際交流員のコラム -鹿児島県国際交流員 ウォン イミン-**

○鹿児島の空を飛ぶ

02 知事のうごき

○大阪・関西万博 九州7県合同出展のオープニングセレモニーに参加しました
(9月11日)

○在トリニダード・トバゴ日本国大使が訪問されました(9月11日)

○かごしま外国人材受入優良企業を表彰しました(9月25日)

03 鹿児島の国際交流

○「手話の日」及び「国際ろう者週間」における手話の普及啓発活動を実施しました
(「手話の日」:9月23日,「国際ろう者週間」:9月22日～28日)

○サッカー少年 中国・長沙市へ派遣(9月19日～28日)

04 かごしまのイベント情報

○悪石島ボゼ祭り(9月7日)

○令和7年川内大綱引 (9月22日)

鹿児島空を飛ぶ

鹿児島県国際交流員 ウォン イミン(シンガポール出身)

鹿児島の美しい空を自由に飛んで、どんな気持ちになるか想像したことはありますか？

ずっとやってみたかったパラグライダーに、挑戦する機会がやってきました！場所は、鹿児島県にあるすごく美しい島であり、ユネスコ世界遺産にも登録されている奄美大島です。



パラグライディング！

奄美大島へ

前から奄美大島に行きたいと思っており、ついに昨年の冬にそのチャンスが訪れました。冬に行きたいと思っていた目的は、ホエールウォッチング（船で鯨を探すこと）でした。さらに同時にパラグライダーもできたらいいなと思っていました。

現地で案内してくれた友人のおかげで、ホエールウォッチングもパラグライダーも両方楽しむことができ、さらにたくさんの楽しい体験もして、とても思い出深い旅になりました。



何頭のクジラにも出会える神秘的な時間

今回はその素晴らしいパラグライダー体験についてご紹介させていただきます。

あいみパラグライダースクール

奄美では、未経験でも楽しめるタンデムパラグライダー体験がいくつかあります。私が訪れた「アイミパラグライダースクール」はそのひとつで、友人がとても楽しかったと紹介してくれました。

パラグライダーは天気の影響を大きく受けるものであり、天候や風の条件が夏の方がパラグライダーに適しており、通常では夏がピークシーズンと言われました。

逆に、冬のほうは天気が不安定になりやすく、私も実際、天候の影響を受け、当初決めていた日時から何度も変更しなければならませんでした。

そんな中でも、あいみパラグライダースクールさんはとても親切で、ずっと天候を見てくれました。のおかげで、旅行のほぼ最後でなんとかパラグライダーを楽しむことができました。



不安定な天気だけど壮大な景色

フライト前

当日は、非常にいい天気で、美しい青空が私たちを飛び立つ丘の上で迎えてくれました。

インストラクターのアイミ先生は、朝からずっと天候の確認をしてくれていて、風向きのチェックや、着地地点の準備など万全にしてくれていました。

その後、アイミ先生は、私たちを飛び立つ場所まで案内してくれました。再度飛び立つすべての条件が整っていることと、装備を確認した後、詳しいセキュリティブリーフィングと飛行中のことについて、説明をしてくれました。

次に、アイミ先生は、私の装備を着けて最終チェックを行い、その後ご自身の準備も整えました。

彼女のプロフェッショナルな対応と落ち着いた雰囲気は、初めての私にとって、非常に心強かったです！準備が整うのを待つ間、私はわくわくし続けていました！



美しい天気と絶景に恵まれた当日



丘の頂上にあるテイクオフ地点



準備中

空へ

いよいよその時が来ました！丘の端から走り出して、風がすぐにパラシュートを捉えてくれました。あっという間に空の上を走るような感覚で、テイクオフできました！

空に舞い上がると、目の前に広がる奄美の絶景。ほとんどスピードを感じることもなく、鮮やかな青空と明るい日差しの中で、ただゆったりと漂っているような感覚でした。

途中でアイミ先生が下に広がる奄美の景色をいくつも教えてくださり、まさに鳥の目線で絶景を楽しめる体験でした！すごく不思議で、本当に夢みたいでした！



飛び出す瞬間



鳥の一日（多分）



（少し傾いた）空中ビュー

地上へ

だんだん下に降りていくと、キラキラした海が広がってきました。水がとてもきれいで、海底までよく見えました！

少しずつ、海辺の着地ポイントに近づいていきました。金色の砂浜がどんどん大きくなってきて、気がついたら「トンッ」とやさしく着地。ふたたび地面の感覚に戻ってきました。

この体験はまるで夢のようでした。フライトはだいたい15分でした。15分という短い時間だったにも関わらず、飛んでいる間は、時間が止まった様にも感じられるほど充実しており、とても不思議な時間でした。



後ろの山



キラキラ輝く海の上に

着地点へ近づいていく

感想

パラグライダー初心者の私は、実際に飛ぶまで、ワクワクしてスリル満点だと思っていました。ですが、飛び立つために丘の上から走り出す時のドキドキ以外、とても穏やかで静かな時間が続きました。

さらに、空から見る奄美大島の景色は現実とは思えないほど美しかったです。まるで飛行機で空港に着陸する直前に下を見ているような気分ですが、肌で感じる風や日差しのおかげで飛行機より、もっと身近に感じられました。

素晴らしい体験をさせてくれたアイミパラグライダースクールさん、アイミ先生、そしておすすめして一緒に行ってくれた友人に、心から感謝です！

今回のパラグライダー体験は、楽しすぎて、チャンスがあればもう一度やりたいと思っています。みなさんにもぜひおすすめします！

あいみパラグライダースクール

電話番号：0997-69-3163

住所：〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町大字節田 1626 番地

サイト：<http://amami-aimi.com/>



鳥の体験(?)を楽しんでいる私



ありがたさま りょうた 奄美！

02 知事のうごき

大阪・関西万博 九州7県合同出展のオープニングセレモニーに参加しました (9月11日)

大阪・関西万博において、「九州の宝を世界へ」をコンセプトに九州7県合同で9月3日～5日にかけて開催した合同出展に私も出席し、食や観光などのPRを行いました。ブースでは、県産和牛のローストビーフなど各県自慢の料理を詰め込んだ「九州宝弁当」や、本県の焼酎ソーダ割、指宿温泉サイダーなどの販売を行いました。イベントスペースでは、平田まりなさんをはじめ奄美大島出身の唄者による奄美島唄ライブで、会場を盛り上げていただきました。

本県のブースでは、3つの世界遺産や伝統的工芸品、食文化の体験や、県産和牛や焼酎の試食・試飲などのPRを行いました。九州合同ブースでは3日間で約47,000人の来場があり、多くの方々に本県の豊かな自然や歴史・文化、特産品など「南の宝箱 鹿児島」の魅力を体感していただけたものと考えています。

今後とも、さまざまな機会を捉え、本県の魅力発信や観光誘客に取り組んでまいります。



▲セレモニーでの挨拶の様子



▲大島紬について説明する平田まりな氏



▲鹿児島県のブースの様子



▲奄美島唄ライブの様子

在トリニダード・トバゴ日本国大使が訪問されました(9月11日)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館の梅澤特命全権大使が鹿児島県知事を表敬訪問されました。

梅澤特命全権大使からは、同大使館が管轄する国からのALTの受入に対するお礼があり、また、ALTの希望者から鹿児島県は、大変人気があるので、今後も受け入れてほしいとの依頼がありました。

現在、トリニダード・トバゴではゴミ問題への関心が非常に高く、現地メディアが大崎町等の取組に興味を持っているというお話がありました。

今回の訪問が、本県とトリニダード・トバゴ及び大使館管轄国との、より一層の交流発展に繋がれば幸いです。



▲梅澤特命全権大使と塩田知事の歓談の様子



▲記念撮影の様子

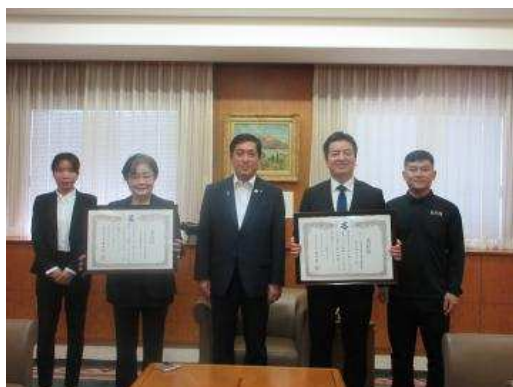
かごしま外国人材受入優良企業を表彰しました(9月25日)

外国人材が働きやすい職場づくりに取り組まれている県内の企業、法人等の団体を表彰する「かごしま外国人材受入優良企業表彰」を行いました。

今年度は、外国人材の定着や育成に向け、大変優れた取組をされている株式会社ACG（医療・福祉（介護））、加治木産業株式会社（製造業）の2社を表彰させていただきました。

受賞された皆さまにお祝いを申し上げますとともに、今後一層のご活躍を期待しています。

県としては、受賞された皆さまの優良な取組を広く発信し、県内企業における外国人材の受入環境の向上を図ってまいります。



▲株式会社ACGと加治木産業株式会社の皆様との記念撮影の様子

03 鹿児島県の国際交流

「手話の日」及び「国際ろう者週間」における手話の普及啓発活動を実施しました (「手話の日」:9月23日「国際ろう者週間」:9月22日～28日)

令和2年3月に施行された「かごしま県民手話言語条例」を踏まえ、手話の普及やろう者に対する理解促進を図るため、9月23日の「手話の日」及び9月22日から28日の「国際ろう者週間」における手話の普及啓発活動を実施しました。



1. 「手話の日」手話フェスタ（普及啓発イベント）

日時：9月23日（火）午前10時～正午，午後1時～3時

場所：イオンモール鹿児島3階イッカラウンジ前

内容：手話体験ブース，パネル展等

2. 「青色」ライトアップ

日時：9月23日（火）日没後～

場所：アミュプラザ鹿児島（アミュラン），センテラス天文館（センテラススクエア，外壁ロゴマーク），ソラリア西鉄ホテル鹿児島，西田橋，高見橋

3. パネル展

展示場所（展示期間）：

- ・本庁1階アトリウム階段下（令和7年9月22日（月曜日）～29日（月曜日））
- ・イオンモール鹿児島（令和7年9月19日（金曜日）～29日（月曜日））
- ・各地域振興局・支庁及び県内19市町，県立図書館，県立奄美図書館
（令和7年9月中旬～9月下旬）



▲ 「手話の日」手話フェスタの会場の様子



▲ パネル展示の様子(イオンモール鹿児島)



▲「青色」ライトアップの様子

左:アミュプラザ鹿児島 右:高見橋

サッカー少年 中国・長沙市へ派遣(9月19日～28日)

鹿児島市が海外の姉妹・友好都市に若者を派遣する「青少年の翼」事業で、スポーツを通じて交流を深めることを目的とし、中国・長沙市へ中学2・3年生20人を今回初めてサッカーチームとして派遣しました。長沙市内の視察や現地の中学校を訪問することに加え、「2025 湖南長沙国際友好都市サッカー大会」にも参加しました。

04 かごしまのイベント情報

悪石島ボゼ祭り(9月7日)

ボゼは、お盆行事の最後に出現する来訪神で村人の穢れを払ってくれる神様であり、大きな耳と目と口、長い鼻を携えた珍妙な仮面を被り、ビロウの葉で身体を覆ったユニークな姿です。

3人の若者がボゼに扮し、赤土をつけたボゼマラとよばれる長い棒で女性や子供を追いかけて回します。この土を付けられると御利益があるといわれています。

祭りは500年以上も前に始まったとも言われており、2015年に「悪石島のボゼ」として国の重要無形民俗文化財に指定され、2018年には「来訪神：仮面・仮装の神々」の構成行事の一つとしてユネスコの無形文化遺産に登録されました。



▲ ユニークな姿のボゼ神

「© K. P. V. B」

令和7年川内大綱引（9月22日）

毎年9月秋分の日の前日に開催される，薩摩川内市の伝統行事。

大綱引の綱は，当日に朝から約1,500人の人々が365本の縄から半日以上かけて1本の綱へと練り上げます。

夜の大綱引きでは長さ365m，重さ7トン，日本一の大綱を約3,000人の上半身裸にサランを巻いた‘ハダカ’と呼ばれる男たちが一斉に引き合います。相手の引き隊を邪魔するために相手陣内に押し込んでいく押し隊と呼ばれる男たちの体と体が激しくぶつかり合う様が見る物を圧倒する勇壮な綱引です。

歴史は長く，今年で426年目を迎えた伝統行事です。鹿児島県の無形民俗文化財であり，2024年3月には，国の重要無形民俗文化財に指定されました。

また，今年は「綱を運ぶ最大のパレード」に，総勢782人が力を合わせて挑戦し，見事ギネス世界記録に認定されました。



▲ 上方, 下方がぶつかり合う様子
「© K. P. V. B」



▲ 綱引開始前にあいさつを行う塩田知事

編集後記 （鹿児島県観光・文化スポーツ部 国際交流課）

今月号より、メルマガのレイアウトを一新してみました、いかがでしょうか。

200 号を超え、これからもより楽しく、そして鹿児島の“今”を世界に伝える架け橋となれるよう、充実した情報をお届けしたいと思っています！

さて今月号では鹿児島のお祭りについて掲載しました。

鹿児島には一年を通じてたくさんのお祭りがありますが、その中でも南九州地方最大規模といわれる「おはら祭」が、今年も例年通り 11 月に開催されます。

街中では提灯が飾られ、花電車も運行を始めるなど、お祭りムードが少しずつ感じられるようになってきました。

みなさんのお住まいの地域にも、お祭りはありますか？

お気に入りのお祭りや珍しいお祭りがありましたら、ぜひ教えてくださいね☆彡

それではまた次号もお楽しみに。

「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。

写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▼▲

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号：+81-99-286-2306

FAX 番号：+81-99-286-5522

電子メールアドレス

英 語：cir1@pref.kagoshima.lg.jp

中国語：cir2@pref.kagoshima.lg.jp

韓国語：cir3@pref.kagoshima.lg.jp

日本語：minami@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県庁ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

鹿児島県観光サイト かごしまの旅

<https://www.kagoshima-kankou.com/>

※ 本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。